

10/27 産経

<第三种郵便物認可>

部落地名リスト大量流出

ネット上 37都道府県の430件分

法務省調査

被差別部落の地名や所在地などを記した「部落地名総鑑」として、37都道府県約430件分の地名リストがインターネット上に流出していたことが26日、分かった。ネット上にこれほどの規模で被差別部落の地名リストが流出したのは初めて。正確な記述もあるが、全国の被差別部落の住所

などが多数記載されており、「同和問題について」の誤った印象を与えかねない」として、法務省人権擁護局などが調査を始めた。リストは、インターネット上の匿名掲示板に部落地名総鑑に関する書き込みがあり、記載されたリンク先やパスワードの入手方法に従うと閲覧で

きる仕組みになっていた。「部落地名総鑑」と題して37都道府県ごとに約430の地名リストを列挙。住所とともに「〇〇駅前」「〇〇大学隣」といった場所の目印などの記述もあった。今月21日、三重県内の公務員が発見し、三重県人権センターに連絡。都府県などで構成する全国

人権同和行政促進協議会を通じて法務省に情報提供した。法務省東京法務局人権擁護部は24日にリストを確認し、サイト管理者に対する削除要請などを検討したが、要請前の25日に、すでに削除されていた。リストに記載されていた関連自治体のうち、部落差別事象に係る調査等

の規則等に関する条例がある大阪府は、府警に相談しながら調査を始めている。書籍の部落地名総鑑は、これまで10種類が確認されている。9月末には部落解放同盟がこのうち2種類の電子データを保存したフロッピーを認めたと発表した。しかし、今回のデータはこれらとは別物とみられる。部落解放同盟幹部は、「正確な記述も多く、被差別部落でなかった地区も含まれているが、なんらかのリストを使って作成した可能性がある。極めて悪質で、差別意識を助長する」と話している。

の規則等に関する条例がある大阪府は、府警に相談しながら調査を始めている。書籍の部落地名総鑑は、これまで10種類が確認されている。9月末には部落解放同盟がこのうち2種類の電子データを保存したフロッピーを認めたと発表した。しかし、今回のデータはこれらとは別物とみられる。部落解放同盟幹部は、「正確な記述も多く、被差別部落でなかった地区も含まれているが、なんらかのリストを使って作成した可能性がある。極めて悪質で、差別意識を助長する」と話している。

H18 10/27 毎

「部落地名総鑑」掲載

2ちゃんねる 既に削除

「部落地名総鑑」と題した全国の地名一覧がインターネットのサイト「2ちゃんねる」の掲示板に掲載され、削除され

ていたことが26日、分かった。法務省人権擁護局は「全国の被差別部落の地名とされる一覧がネット上に流出したのは把握

している範囲では初めてだ。内容の正誤は不明だが、差別をおおる行為で「大変遺憾」としている。同局や大阪市によると、三重県内の行政職員が今月21日、掲示板「部落地名総鑑」の圧縮ファイル「」のを見つけ、

35の地方自治体加わる全国人権同和行政促進協議会に通報。情報提供を受けた同局が25日、人権侵犯事件として削除を求めようとしたところ、既に削除されていたとい

の資料で10種類発見され、部落解放同盟大阪府連が9月30日、うち2種類を電子データ化したフロッピーディスク36枚の回収を発表していた。同府連は大阪市から25日に情報提供を受けたとい

い地名も含まれており、既に発見されている地名総鑑と同一かは現時点では分からない。誰の目にも触れる状況になったことで、新たな人権侵害が起りかねない」と危惧している。【山根真紀】

い地名も含まれており、既に発見されている地名総鑑と同一かは現時点では分からない。誰の目にも触れる状況になったことで、新たな人権侵害が起りかねない」と危惧している。【山根真紀】

地名総鑑はこれまで紙

「被差別」ではな